

意見を論理的に構築する前提

論理的な発言の構成要素

①主張

②根拠

①主張

主張とは、「問いに対して自分が考えた結論・意見・推論のこと」を指す。

「問いに対して」というのがポイントで、主張は「無」から生まれるものではない。

「**主張の裏には必ず問いがある**」という認識を持つこと。

例①

「A案かB案を決めるケース」

Q.A案かB案のどちらがいいか

問い

A.「僕はA案が良いと思います。」

主張

例②

「アイデアを求めているが、思いつかず沈黙しているケース」

Q. (なにかアイデアはないか?) **問い**
という沈黙

A. 「アイデアがあるのですが **主張**
よろしいでしょうか？」

②根拠

根拠とは、主張を成り立たせるもの。
一般的には、理由や事例や法則やデータ。
ポイントは、「主張と結びつくかどうか」
その根拠を聞いた人が、「**だからその主張になるのか**」と**感じるもの**が、主張と結びついている根拠である。

- ・ 主張と根拠が結びついていない例



「A案にすべきだと思います (主張)
なぜなら、他社もそうしているから
です (根拠)」



「とはいっても、うちがA案を採用する
理由にはならないですよね？」

→論理に飛躍がある

- ・ 主張と根拠が結びついている例



「A案にすべきだと思います（主張）
なぜなら、A案とB案を比べると効果
は同じですが、A案はB案よりも、
実現コストが6割低いからです。
（根拠）」



「なるほど。であれば、A案が良いで
すね。」

次回の学習テーマ：

論理的な思考が得意でない人の特徴と対策